

1 哲学超入門

問一 距離感 時間

問二 ア・オ

問三 一期百会

問四 ウ

構成メモ

1 距離感

2 制約

3 一網打尽

5 一期一会

6 希少性 網羅性

遍在性

下書き

3 (段落)

(ネット社会では) 出会いの奇跡、希少性が、網羅性、遍在性に交換され、(一期百会)の時代となった。

百字要約

ネット時代の買い物物では空間的な距離感と時間の制約が喪失し、時間の不可逆性が、一網打尽性に転換された。ネット社会では出会いの奇跡、希少性が、網羅性、遍在性に交換され、(二期百会)の時代となった。(96字)

2 大量発話時代と本の幸せについて

構成メモ

1 情報の流れ

2 今

4 新たな情報の源泉や流れを把握した編集

5 好ましい タイムリー

7 個人が手にする情報の量や行動の可能性

問一 A 快適

D ぶんき

問二 ① オ

③ ア

問三 ウ

問四 イ

B 塊

E 閲覧

② ウ

④ カ

C 精密

F ぎんみ

問五 (例) 大量の情報や選択肢

問六 エ

問七 ① メディア タッチパネルデバイス

② 人間の幸福

(例) メディアの充実とタッチパネルデバイスの充実が、個人が手にする情報の量や行動の可能性を飛躍的に拡大させてきたが、人間の幸福がメディアの進展に伴って飛躍するかどうかはわからないから。(89字)

③ 書物の変—グーグルベルグの時代

構成メモ

① 群衆 社会の変化

③ 特定の場所に固定されること

④ ポスト情報化社会

⑤ 擬似群衆

⑥ 実空間 情報空間

⑦ 非決定性

⑧ 待機する群衆

問一 A エ B イ

C ウ D ア

問二 イ

問三 受信(例) 映像や音楽をいつでもどこでも受信すること。(21字)

発信(例) 個人が日常的にさまざまな情報を配信すること。(22字)

問四 擬似群衆の増大 非決定性の増大(順不同)

問五 (例) より多くの情報を手にしつつ、最後の瞬間まで心を決めない態度。(30字)

(別解) より多くの情報を考えあわせ、意思決定を先延ばしにする態度。(29字)

問六 オ

問七 ① 情報空間で互いに影響を与えられる具体的な関係をもっている

② 残されている時間 情報 意思の決定を先延ばしにする(最後の瞬間まで心を決めない)

(例) 情報空間で互いに影響を与えられる具体的な関係をもっている擬似的な群衆が増大し、残されている時間があるかぎりより多くの情報を求め、意思の決定を先延ばしにする傾向。(80字)

語彙プラス①【情報】

- ① たんてき・オ ② へんざい・ア
③ えつらん・エ ④ 制約・ウ
⑤ 飛躍・イ ⑥ 連携・カ
② ① 踏まえ ② 根ざし
③ あらゆる
③ ① 潜在 ② 模倣 ③ 能動
④ ① イ ② エ ③ ア ④ ウ
⑤ ① 断片 ② 網羅
③ ③ 吟味 ④ 典型

④ 絵と心

問一 (1) 目に見える何か

(2) 何も描かれていない

問二 ウ・オ

問三 自然のもっている生命

問四 イ

構成メモ

① 目に見える何か

② 何も描かれていない

③ ひろがり 美しさ

④ 心

下書き

(東洋画は) 宇宙のひろがりや生命の美しさ(を描こうとしている。)

(東洋画、とりわけ日本の絵では、) 自然を描くに当たっても、その心を表す写意が尊ばれた。

百字要約

ヨーロッパの絵画は、目に見える何かをそのまま描くのが当たり前であるのに対し、東洋画は、宇宙のひろがりや生命の美しさを描こうとしている。東洋画、とりわけ日本の絵では、心を表す写意が尊ばれた。(94字)

5 新・建築入門

構成メモ

- 1 差異と同一性
2 窓 窓
3 リバーシブル
4 主体と客体の関係
5 主体と客体が反転する
6 主体と客体が反転する

問一 A 座標 B よそお(って) C 繊細

D 牧歌 E そうしつ F 内蔵

問二 定義

問三 (例) 見る主体と見られる客体を反転させる孔。(19字)

(別解) 主体が客体を見る孔で、反転可能なもの。(19字)

問四 ウ

問五 (例) 彫刻の中に製作者がはいりこみ、外の世界をのぞきみること。(28字)

問六 エ

① 建物の内部 客体

建物の外部 客体

② 反転可能性

(例) 窓があることよって、建物の外部から内部を、内部から外部を見ることができ、この主体と客体の反転可能性が建築の定義である。(60字)